



# 旭自治会 だより

令和4年12月1日 第56号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: [kameoka-asahi.com](http://kameoka-asahi.com) (QRコード)



## 令和4年の12月を迎え

早いもので令和4年もあと1か月となりました。今年は3年間続いたコロナ感染の影響による様々な経済活動の自粛からも少しずつ開放に向かった年でした。しかしながら、感染拡大の規模はあまり縮小したとは言えず、まだまだ脅威が無くなった訳ではありませんでした。旭町自治会としましてもコロナ禍以前の状態まではまだまだ時期尚早ということで、計画をしていた例年実施していた、催事等は再開ができませんでした。コロナの脅威は続いているものの、この病気で亡くられる方は60歳以下では致死率は0.1%まで下がったと言われてはいますが、しかしながら今でも怖い感染症であることには違いありません。うまく付き合いながら、諸々の活動を再開したいものです。

このような中、11月の自治会行事として26日、例年のわが街花づくり事業を少し拡大して今年は、青少年育成協議会と共催させていただき、子供たちと一緒に「仲良し花壇づくり」をしました。来年春にはたくさんのチューリップが咲くのが楽しみです。

今年、旭町コミュニティーセンターを利用して、多くのサークルの皆様が活動を再開していただきました、自治会だよりで何度か紹介をさせていただきましたが、これからも皆さん健康で長く利用されますことをご期待いたします。

12月師走は何かと気忙しい月であります、一年の締めくくりの月でありますので、町民の皆様には事故のないよう日々をお送りいただきますようお祈りいたします。

旭町自治会長 吉川 肇

### 秋冬を表す旭の風景

秋の空を黄金色に彩るイチョウ。グラウンドを黄色いジュータンで彩り、旭町の心を癒してくれるスポットになっています。



ここ数日間、上池に朝早くから夕暮れまで多い時で7羽のコウノトリがいます。旭町の絶好の観察スポットとなっています。近づかないでそっと見守りたいです。

## わが街花づくり事業 子どもたちと花植え

自治会と青少年育成協議会の共催で「花壇づくり」を行いました。子どもたち 17名が参加し、ビオラ・チューリップの球根を植えました。植える場所も皆で相談しながら一つずつ丁寧に植えていました。

ある花壇には、黄色のビオラで「子」という字を描き、まわりを色の違うビオラやチューリップで囲む工夫もしていました。春どんな花壇になるのか楽しみです。（HP もご覧ください）



## 新 民生児童委員 決まりました

12月1日付で民生児童委員が交代となります。4年間大変お世話になりました。新たに下記の方々にお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

- ・川勝 郁子様(美濃田区担当) ・川勝 厚男様(杉・印地区担当)
- ・人見 千代子様(山階区担当) よろしく願い致します。

◎岸本 晃様・人見 千晴様今まで大変有難うございました。

## 12月・1月行事お知らせ

- ・12月 3日(土)・・・世代間交流の代わりに対象者に花贈呈
- ・12月 4日(日)・・・女性集会 (ガレリア かめおか にて)
- ・12月 11日(日)・・・グランドゴルフ大会 (日時変更となりました)
- ・12月11日・25日・・・冬野菜フェア なごみの里あさひ
- ・12月13日(日)・・・人権啓発講演会 馬路文化センター 午後7時30分～
- ・12月17日(土)・18日(日)・・・エコグリーン配布 午前8時から
- ・12月28日、29日・・・年末特別警戒
- ・**12月 29日(木)から令和5年1月5日(木)・・・自治会 年末年始 休館**
- ・令和5年1月8日(日)・・・消防団 出初め式 予定

## 「カワヒガシ若手組合 KYU（キュウ）」 川東を元気に♪

過日、新聞で紹介され、旭を拠点として活動をしている「カワヒガシ若手組合 KYU」のメンバー5人組取材しました。旭だけでなく川東5町を盛り上げようとしている若手グループです。

（右から）大江広一郎さん（農家）宮前裕太さん（いちご栽培）森田信行さん（農家）辰巳雄基さん（霧の芸術祭ディレクター）岡裕介さん（木工師）（欠席）野間晃輔さん（デザイナー）（欠席）

旭へのかかわり方は、一人ひとり違いますが「川東マーケット」として、年に数回全員で「マルシェ」を実行され、なごみとの共催もあります。

### 「活動を始めたきっかけは？」

「なごみの生産者として所属していた2人がきっかけで、旭町を盛り上げたいという意識の元メンバーが集まりました。そして所属メンバー6人から川東全体を盛り上げることで、旭町にも人の流れが作れるのではないかと面白いことをすれば人は集まる。人が集まれば、旭町やなごみの里あさひが盛り上がるのではという思いでスタートしました。」彼らは旭という地域に限らず、川東5町を視野に入れて活動していきたいと思っています。「川東5町を元気にしたいのです。」と強い決意で言われたことが印象的でした。



### 「活動する中で旭町の印象は？」

「私たちが頑張れるのは、住民の方の温かさがあるからだと思います。この温かさが仕事をしていける大きな原動力になっています。また、旭の自然の素晴らしさは、外から来た私たちにはとても魅力的に感じました。そこで生活されている方は当たり前なことかもしれませんが、こんな素晴らしい環境で生活ができることに幸せに感じます。更に、歴史豊かな神社がすぐ近くにあることにも驚かされました。そんな素敵な旭で仕事ができることが喜びです。」と普段、私たちが気づかない旭の魅力を再認識させられました。

しかし、良いことばかりではありませんでした。生活する中で、様々な役が回ってきます、時間が足りないと感じたこともありました。

また、変化を望まない伝統を守るという良い面と、変わるべきは変えるという変化も必要ではないかと感じました。

今後子どもたちを対象としたイベントなども実行し、旭が盛り上がるような活動をしていきたい。さらに、地域の人たちと交流を深め、もっと私たちのことを知ってほしい。そして一緒により良い旭になるように活動をしていきたい。

取材する中で、彼らと旭を盛り上げるために、私たちも共に活動していければと感じました。彼らの行動力は旭にとってとても心強いと感じました。

